



豊橋市立福岡小学校

令和 2 年

7 月 1 0 日

第 3 号

日常が少しずつ戻ってきました (その1)

5月下旬に登校が再開され、まもなく2か月になろうとしています。三密を避けるため、手探りでやってきた教育活動ですが、少しずつ平常を取り戻しつつあります。

【全校での取り組み】

1 委員会活動

テレビによる朝会が7月2日に行われ、3つの委員会から全校への連絡がありました。計画委員会からは、あいさつ、時間、身のまわりを整えましょうと生活三原則が伝えられました。また、スポーツ委員会からは熱中症対策として、運動場ではマスクを取って遊ぶ、帽子をかぶる、日陰で遊ぶように伝えられました。最後にクリーン委員会から、清掃時は、しゃべらず、部屋の隅々まで掃除をし、道具の整頓をしようと伝えられました。



【放送室からテレビ放送されました】

委員会活動は、子どもたちが、自分たちで学校生活をよりよいものにしていこうという活動です。委員会からの連絡を通して、全児童の学校生活がよりよくなるであろうと期待が膨らみました。

2 あすなる郵便局

あすなる学級の子どもたちが準備した葉書を希望者に渡したり、葉書を届けたりする「あすなる郵便局」も、6月下旬から実施されました。日ごろ思っていることを友達や先生に伝える手紙はみんなの心を温かくしてくれます。校長である私にも「朝、門の前で温かい挨拶をしてくれてありがとうございます。」など、うれしい手紙が届きました。



【キャップと葉書が交換されました】

3 図書館 セタフェスティバル

セタに合わせて、ボランティアの方が笹と短冊を用意してくれました。短冊には「友達と仲良くできるように」「テストで100点が取れますように」、その他「お父さんとお母さんが長生きできますように」といった子どもらしい願いが見られました。そんな中に「コロナウイルスがなくなって、早く音楽の授業で思いっきり歌いたい!」という短冊がありました。河辺教頭先生が書いたものでした。コロナウイルス感染症により、さまざまな制限がありますが、子どもとともに学ぶ気持ちを大切にしていきたいと改めて感じました。



【図書館にセタ飾りが設置されました】